

第3回

あれから30年

Project  
IMPACT

NVNAD2025プロジェクト

～みんなが助かる社会をめざして～

要申込み

2024年

8回シリーズ第3弾(参加費:500円)

1月20日 土 15:00-17:00

(受付:14:30~)

会場:西宮市民会館大会議室101(西宮市役所隣り)

地震や水害など災害が各地で多発しています。これはもう他人ごとではありません。自分たちの身近な『わがまちの防災・減災』について、この機会と一緒に考えてみませんか?

## プログラム

15:00 開会挨拶  
:05 イントロトーク  
:15 パネルディスカッション

テーマ 「被災地のリレー」

～恩送りのできる社会へ～



※被災地の特産品のお土産あり

<パネラー> 順不同・敬称略

- ・武本 純 (新潟県刈羽村社会福祉協議会 会長)
- ・貫牛 利一(チーム北リアス 現地事務所長)
- ・大門 大朗(福知山公立大学地域経営学部 准教授)

<コーディネーター>

- ・渥美 公秀(大阪大学大学院 教授  
NVNAD副理事長)

16:50 閉会挨拶  
17:00 終了(会場の展示物を紹介)

※(内容は一部変更になる可能性があります)

定員:80名(先着順)※定員になり次第締め切ります。

主催:認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)

共催:大阪大学災害ボランティアラボ

協賛:一般社団法人 日本損害保険協会、大阪大学人間科学研究科Project IMPACT

後援:兵庫県、西宮市、西宮市社会福祉協議会、NHK神戸放送局、サンテレビ、さくらFM

神戸新聞社、読売新聞阪神支局、朝日新聞阪神支局、毎日新聞阪神支局、産経新聞神戸総局(順不同)



お申込み  
お問い合わせ

日本災害救援ボランティアネットワーク事務局

住所:662-0853 兵庫県西宮市津田町3-43

TEL:0798-34-9011 メール:nishinomiya@nvnad.or.jp

QRコードからもお申込みができます⇒

※このシンポジウムは「ひようご安全の日推進事業助成金」を受けて開催します。



# パネラー・コーディネーター紹介

## 武本 純

(新潟県刈羽村社会福祉協議会 会長) パネラー



2011年の3月末、30年間務めた刈羽村役場を定年退職。8月に刈羽村社会福祉協議会会長に就任し今日に至っている。また、この年3月には東日本大震災が発生した年でもある。以来、今日まで社協の仕事と同時に震災支援に携わってきた。NVNADの皆さんとは、この時からの付き合いである。

## 貫牛 利一

(チーム北リアス 現地事務所長) パネラー



岩手県野田村出身。1992年「ふるさと野田研究グループ」を立ち上げ、伝統的製法で塩を作り「のだ塩」として商品化した。2011年ボランティア団体をつないで「チーム北リアス」を発足。

## 大門 大朗

(福知山公立大学地域経営学部 准教授) パネラー



被災地のリレーについて、東日本大震災や熊本地震などの被災地で実践研究を行うとともに、社会調査やシミュレーションを通して研究を行ってきた。専門は災害ボランティア、社会心理学。

## 渥美公秀

(大阪大学大学院 教授) コーディネーター



専門は社会心理学。防災講座の実績多数。NVNADには発足当初から携わり長年、理事長を務め、現在は副理事長。中越沖地震、東日本大震災にも、救援から復興へと関わってきている。

## 開催趣旨

日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）は、1995年1月17日の阪神・淡路大震災をきっかけに、西宮市役所内に発足したボランティア団体（当時の名称は「西宮ボランティアネットワーク（NVN）」）です。発災当時、西宮市役所と連携して被災者の支援活動に従事したことが、のちに「西宮方式」と呼ばれるようになりました。発災以降、各地で発生した地震や水害など、これまで数多くの災害現場へ赴き、ボランティアの皆様と一緒に支援活動に関わってきました。また、それら被災地支援で学んだ教訓や経験をもとに、講演会や防災イベントを実施するなど、日頃の防災・減災の啓発活動にも精力的に取り組んできました。2025年1月17日にあの日から30年を迎えます。これまでの活動全体をふりかえり、当団体が様々な人たちと共に培ってきた災害救援や防災・減災のノウハウや経験を市民の皆様にお伝えしたいと思います。『みんなが助かる社会』を目指し、地域の絆やつながりの重要性を再確認し、この大切な想いや活動を未来につなげていくことを目的に、7回シリーズの公開シンポジウムを開催いたします。

## NVNAD団体紹介



1995年1月20日ごろ。西宮市役所で支援物資を地下に搬入する市民ボランティア。この活動を原点として、その想いを継承し現在の活動の礎としています。



当団体は、阪神・淡路大震災から現在まで、災害が発生するなどの緊急時は被災地の救援活動、復興支援活動を続けてきました。また平常時には、地区防災計画づくりの為にまちごと防災セミナーや当団体が制作した防災アニメを活用したおやこ防災講座を行うなど、防災啓発活動にも力を入れています。